

Governor's Monthly Letter

2024

9

September

ガバナー月信

vol.3



Governor's Monthly Letter

Sep. 2024

ガバナー月信 vol.3



9月号

今月の表紙

MIMOCA
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

2013年の夏は丸亀駅から宇和島駅まで歩いて1分ほどの距離だったのをご存知だろうか？ 実はこれ、宇和島を拠点に活動する現代美術家大竹伸朗氏の作品で、過去には東京国立近代美術館などでも同様に展示されて話題になったものである。駅前に立地するMIMOCAでは発着する列車の音や構内アナウンスが聞こえてくることに加え、駅前ロータリーまで備わっているという抜群のロケーション。間違えてJRの切符を買いに美術館に入った人がいたとかいないとか。(月信担当幹事 塩田 等)

Contents

ガバナーあいさつ	ガバナー 夏 見 良 宏	3
ステファニー A. アーチック会長からの手紙		4
ロータリーの友月間に寄せて	ロータリーの友 地区代表委員 坂田 千代子	8
地区委員長あいさつ	会員増強・維持・退会防止委員会	委員長 加 藤 敏 仁 9
	クラブ管理運営委員会	委員長 織 田 英 正
	職業奉仕委員会	委員長 三 谷 芳 広 10
	社会奉仕委員会	委員長 祖 父 江 貢
	国際奉仕委員会	委員長 篠 田 日 出 海 11
	青少年奉仕委員会	委員長 荻 田 智 子
	ロータリー財団委員会	委員長 赤 松 昭 信 12
	米山記念奨学委員会	委員長 森 和 夫
	ロータリーカード推進委員会	委員長 田 邊 豊 13
	ロータリー公共イメージ向上DEI委員会	委員長 三 浦 聖 人
[地区だより] 短期交換事業 ウェルカムパーティー・フェアウェルパーティー		14
[地区だより] 徳島県知事表敬訪問		16
[地区だより] 香川県知事表敬訪問に香川第Ⅰ・第Ⅱ分区の長期交換学生同席		17
[地区だより] 2024-2025年度 第3回 派遣予定学生オリエンテーション 及び 派遣学生帰国報告会・受入学生最終報告		18
[地区だより] 2024-2025年度 国際ロータリー第2670地区ローターアクト 第1回 会長幹事会 および ローターアクト提唱クラブ連絡会議		19
[地区だより] 高知学芸中学高等学校 インターアクトクラブ認証状伝達式		20
ガバナー公式訪問報告		21
7月度 出席報告		31
受賞者一覧・物故会員		32

Governor's Message

行動計画 「青少年に夢を」の夢は……



国際ロータリー第2670地区 2024-2025年度 ガバナー 夏見 良宏 (丸亀RC)

「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」これは吉田松陰先生の有名な言葉です。

吉田松陰先生の言葉を逆に言えば、「夢ある者には理想がある。理想がある者には計画がある。計画がある者には実行がある。実行ある者は成功する。故に、夢ある者は成功する。」ということになります。

ロータリーではこの「夢」は「奉仕の理想」の歌詞の中に書かれています。(「奉仕の理想に集いし友よ 御国に捧げん我等の業 望むは世界の久遠の平和 めぐる齒車いや輝きて永久に栄えよ 我等のロータリー ロータリー」)歌詞「奉仕の理想」では、奉仕の理想に集いし友(ロータリアン)の望み「夢」は「世界の久遠の平和」です。そして、そのための行動が「社会奉仕」「職業奉仕」「国際奉仕」「青少年奉仕」に代表される「奉仕」行動なのです。

吉田松陰先生は、「聖賢の貴ぶ所は、議論に在らずして、事業に在り。多言を費やすことなく、^(え)積誠^(せきせい)之れを蓄へよ。」という言葉も残しています。

「立派な人が大事にしているのは、議論ではなく行動である。口先だけでなく誠実に行動しなさい」という意味なのですが、やはり、「奉仕」は「行動」が伴って初めて奉仕です。

ロータリー運動は倫理運動ではありますが、それは単なる精神運動にとどまることなく、また、ロータリーの理念はただ主観的なものでもなく、客観的な行動に移さなければ「知っている」に過ぎません。ロータリアン個人もロータリー・クラブも奉仕の理論を実践に移さなければ単なる「夢」に過ぎず、ロータリー運動は口先だけの理屈になり「成功」しないのです。

1962年の国際ロータリー会長ニティッシュ・ラハリーが「世界中のどこかの片隅に、一人でも不幸な人がいる限り、我々ロータリアンは永久に幸せになることができない。心の中に火を燃やそう！」そして行動しようと提唱しました。

松陰先生の生涯は30年と短いものでしたが、松下村塾においても、たった2年余りであれだけの人材を育てたというのは驚きです。やはり「夢」と「行動」の結果が、実績として後世にいかなる人をつくったか、によって計られているのです。

1974-1975年度 第358地区 ガバナー佐藤千壽氏は「ロータリーの価値は何によって計れるか、クラブの大きさではない、クラブの収入の多さでもない、そのクラブがいかなる人をつくったかによってクラブの価値を計れる。」という言葉を残しています。

ステファニー A. アーチック会長からの手紙

Dear Rotary member

ロータリー会員の皆様へ



For most of us in Rotary, what matters most is our personal club experience. When I joined Rotary, my club made me feel like I belonged. I couldn't wait for the next meeting, and I found a new purpose in the service projects we completed together. To me, this sense of meaning and belonging defines Rotary. As president, I feel a special commitment to help every member in every Rotary and Rotaract club feel like an essential part of our family.

I'm writing today to thank you for being a member and making Rotary part of your life. And I want to share a tool that can further enhance your experience with Rotary — our Action Plan.

The Action Plan challenges us to find ways to increase the impact of Rotary service, expand our reach by bringing more people together to share our vision, adapt to a rapidly changing world, and enhance the experience that you and your fellow club members have in tangible, meaningful ways.

ロータリーに所属するほとんどの人にとって、最も重要なのはクラブでの個人的な経験です。私がロータリーに入会したとき、クラブに所属していると感じました。次の会合が待ちきれず、一緒に取り組んだ奉仕活動に新たな目的を見いだしました。私にとって、この意味と所属感こそがロータリーの特徴です。会長として、私はロータリーおよびローターアクト クラブのすべての会員が家族の一員として欠かせない存在であると感じられるよう支援することに特別な責任を感じています。

本日は、会員になっていただき、ロータリーを生活の一部にしてくださったことに感謝するためにお手紙を書いています。そして、ロータリーでの体験をさらに充実させるツール、つまり私たちの行動計画についてお伝えしたいと思います。

行動計画は、ロータリーの奉仕活動の影響を高め、ビジョンを共有するより多くの人々を集めて活動範囲を広げ、急速に変化する世界に適応し、あなたとクラブ会員の体験を具体的かつ有意義な方法で充実させる方法を見つけるよう私たちに求めています。

Letter from Stephanie A. Urchick

Make Rotary simply irresistible

ロータリーを魅力的にしましょう

Keeping members engaged and connected is essential for Rotary's future — and it begins with our clubs.

But great clubs don't happen by chance. I encourage each of you to talk with your club leaders about what you want from your experience and then collaborate to create a welcoming, engaging environment for everyone. I also invite your club to conduct a [member satisfaction survey](#). By understanding more about your fellow club members, you can discover new opportunities to help your club grow.

As members of Rotary, we also receive many benefits that enhance our experience beyond our club. From tools that strengthen service projects to professional development courses and mentorship opportunities, there are a lot of reasons to be a member

会員の関心とつながりを維持することは、ロータリーの将来にとって不可欠です。そして、それはクラブから始まります。

しかし、素晴らしいクラブは偶然に生まれるものではありません。皆さんには、クラブのリーダーと、経験から何を望んでいるか話し合い、協力して、誰にとっても歓迎され、魅力的な環境を作ることをお勧めします。また、クラブで[会員満足度調査](#)を実施することをお勧めします。クラブの仲間について理解を深めることで、クラブの成長に役立つ新しい機会を見つけることができます。

ロータリーの会員として、私たちはクラブ以外でも経験を豊かにする多くの特典も受けられます。奉仕プロジェクトを強化するツールから、専門能力開発コースやメンターシップの機会まで、会員になる理由はたくさんあります。



Find strength in diversity

多様性の中に強さを見出す

We know that most members are introduced to Rotary through friends, who may share the same values, background, or education. Let's grow Rotary by inviting people from a wide range of backgrounds, experiences, and perspectives who also share our passion for community and service to join us and become people of action.

I challenge you to invite someone who might not share the same background as the typical member of your club or district to experience Rotary. If you need help expanding your club's reach, you can find several tools and resources in My Rotary.

ほとんどの会員は、同じ価値観、背景、教育を共

有する友人を通じてロータリーに紹介されることがわかっています。コミュニティと奉仕に対する情熱を共有する、さまざまな背景、経験、視点を持つ人々を招き、ロータリーを成長させましょう。

あなたのクラブや地区の典型的なメンバーと同じ背景を持っていないかもしれない人をロータリーに招待してみませんか。クラブの活動範囲を広げるのに助けが必要な場合は、My Rotary でいくつかのツールやリソースを見つけることができます。



Letter from Stephanie A. Urchick

Join the effort to end polio now

今すぐポリオ撲滅活動に参加しましょう

Maintaining our membership and growing Rotary help us continue our fight to eradicate polio. You can support our efforts in many ways:

- Join or initiate a PolioPlus Society in your club or district. Donations are matched annually 2-to-1 by the Gates Foundation up to US\$50 million, generating a potential total of US\$150 million toward polio eradication.
- Raise awareness in your community by planning events or projects that support the fight against polio.
- Visit endpolio.org to find the latest information and tools to help you share the story of our fight against polio and raise support.

Ending this disease forever remains our top humanitarian priority and needs our full commitment.

会員を維持し、ロータリーを成長させることは、ポリオ撲滅への戦いを続けることにつながります。私たちの活動は、さまざまな方法で支援できます。

- クラブまたは地区でポリオプラスソサイエティに参加または設立してください。寄付金は5,000万ドルと毎年ゲイツ財団から最大 2 倍まで同額支給され、ポリオ撲滅に向けて総額 1 億 5,000 万ドルが集まる可能性があります。
- ポリオ撲滅を支援するイベントやプロジェクトを計画して、地域社会の意識を高めてください。
- endpolio.org にアクセスして、ポリオ撲滅のストーリーを共有し、支援を集めるのに役立つ最新情報とツールを見つけてください。

この病気を永久に撲滅することは、私たちの人道的最優先事項であり、私たちの全力での取り組みが必要です。



Build peace across the world

世界中で平和を築く

As Rotary members, we can help create more peaceful communities around the globe. A first step toward becoming a peacebuilder is to enroll in the [Rotary Positive Peace Academy](https://www.rotary.org/positivepeace) or encourage your district to become a Global Peacebuilder District, if it isn't already.

In February, I'm hosting a presidential peace conference in Istanbul, Türkiye, to celebrate peace and mark the opening of the newest Rotary Peace Center at Bahçeşehir University. This conference will provide opportunities to learn together and explore how Rotary members can promote healing in a divided world. I hope to see you there!

ロータリー会員として、私たちは世界中でより平和なコミュニティを築く手助けをすることができます。平和構築者になるための第一歩は、[ロータリー積極的平和アカデミー](https://www.rotary.org/positivepeace)に登録するか、まだそうでない場合は、あなたの地区がグローバル平和構築地区になるよう奨励することです。

2月、私はトルコのイスタンブールで大統領平和会議を主催し、平和を祝い、バフチェシェヒル大学の最新のロータリー平和センターの開設を記念します。この会議では、分断された世界でロータリー会員が癒しを促進する方法と一緒に学び、探求する機会が提供されます。ぜひご参加ください！



Letter from Stephanie A. Urchick

The Magic of Rotary can have its greatest impact when Rotary members and community leaders come together to solve problems and transform lives. That magic starts with you, and now is the time to put it into action.

You have the power to bring about positive change, both in your club and in your community. When we move into the future united in a common purpose, there's no limit to what we can achieve.
Sincerely,

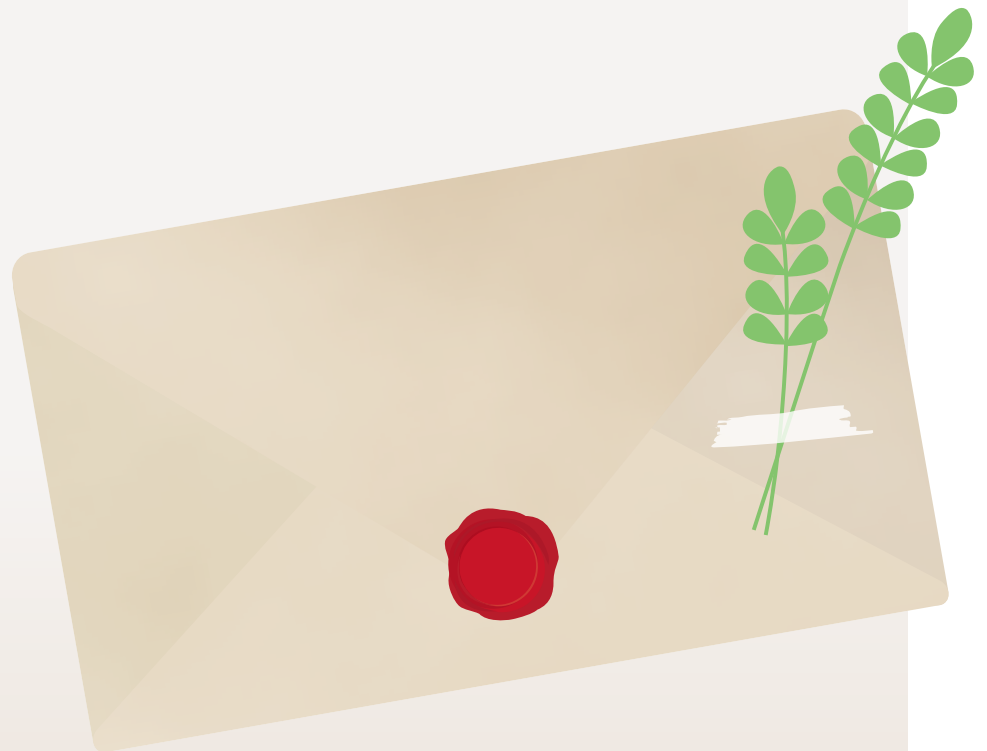
Stephanie A. Urchick
2024-2025 President
Rotary International

ロータリーの魔法は、ロータリー会員と地域のリーダーが協力して問題を解決し、人々の生活を変えるときに最も大きな影響力を発揮します。その魔法はあなたから始まります。今こそそれを実行に移す時です。

あなたには、クラブでも地域社会でも前向きな変化をもたらす力があります。共通の目的を持って団結して未来に向かって進むとき、私たちが達成できることに限界はありません。

敬 具

ステファニー A. アーチック
2024-2025 国際ロータリー会長



ロータリーの友月間に寄せて

ロータリアンの視野を広める『友』 「電子版」ではアーカイブも閲覧可



ロータリーの友 地区代表委員 坂田 千代子 (徳島プリンスRC)

9月はロータリーの友月間です。ロータリアンがロータリーライフを深めるため、そしてクラブがRIとのつながりを実感できるための機関雑誌『ロータリーの友』(以下『友』)の、発行の変遷や意義などを深掘りし、さらに楽しんでご愛読いただきたいと思います。

国際ロータリーが認可する『友』の誌面では、日本を中心に国内外のロータリークラブの活動のほか、社会・経済・健康分野など関心が高い話題を毎月取り上げています。また、会員同士が親睦を深められるような投稿欄も充実しています。『ロータリー章典』に定められた「ロータリーの地域雑誌は、『ロータリーの目的』をあらゆる面にわたって推進するために存在する」を順守し、編集方針を定めています。

さて、『友』の歴史を見てみますと、日本のロータリーが発展し、東西2地区に分かれたときにお互いの繋がりを絶やさないようにと、1953年1月に創刊されました。国際ロータリーには30以上の機関雑誌がありますが、その一員となります。機関雑誌の中には、電子版のみの発行の雑誌もあります。どの雑誌にも共通しているのは、RI会長のメッセージなど、RIが指定する記事を掲載していることです。

創刊当初は、横書きでしたが、日本の短歌や俳句などはどうしても縦書きになじみがあり、世界のロータリー記事や月間特集記事などは横書きに、日本の地区やクラブの活動などの記事は縦

書きということになりました。そして、表裏のない、どちらからでも読めるというユニークな雑誌となっています。

電子版の発行をスタートしたのは2014年1月号からです。そして2022年7月からは、印刷冊子と電子雑誌のどちらかでの購入を選択できるようになりました。随分前から進めてきた『友』のデジタルアーカイブもスタートしました。試しに、会員の皆様のクラブを検索してみてください。過去にどのような記事が投稿されて掲載されたのか、アーカイブを見ることができます。そして、テーマで検索しますと、同じテーマの奉仕活動のクラブ名や時期がわかります。クラブ同士の繋がりや連帯になる道が開かれているのです。

『友』の購読料は、定価275円(本体価格250円、会員は送料込)です。会員の皆様からの購読料は、年2回(7月と11月)、クラブから一括して友事務所へ支払われています。印刷版は、毎月末に送られてきます。

皆様の投稿を待っているコーナーは、「ロータリー俳壇・歌壇・柳壇」「うちの子」「声」「私の一冊」などたくさんあります。投稿は原則、友ウェブサイトの投稿フォームから受け付けます。RIの著作権・肖像権に対する方針を順守するため、2024年7月1日以降、メールでの受付を原則停止しました。

『友』は昨年創刊70周年を迎えました。今後ともご愛読と積極的な投稿をお願い申し上げます。

地区委員長あいさつ



会員増強・維持・ 退会防止委員会

委員長

加藤 敏仁

(高知南RC)

それぞれのロータリークラブにとって、「会員増強・維持・退会防止」は古くて新しい達成を困難とする共通の課題です。私は、本年度の高知第Ⅰ分区ガバナー補佐、高知南ロータリークラブ、1995年8月入会です。入会年度、4名が入会し、7名が退会しています。

高知南ロータリークラブを例に挙げ、「会員増強」について、28年間のエッセンスを探究してみます。2023-2024年度まで、入会者数は198名です。これに対し退会者数は、181名です。入会当初(年度末会員数68名)から28年間の純増は17名であり、直前年度末の現在会員数は85名です。

1958年11月創立した我クラブは、2008年9月、50周年記念誌に載せる企画として、「これからのロータリー」と題し、「新たな50年を刻むために」をサブテーマとし、選りすぐりの12名が参加する座談会を開きました。当該2008-2009年度末の会員数は51名です。座談会は、アルコールを伴い、飲食を共にしながら自由闊達に行われました。

「私は80と言ったけれどもロータリーを欲している若い人たち、経営者がまだまだいるでしょ。だから、限定80人なんですよ。」(加藤発言、『創立50周年記念誌』28頁)

この座談会が契機となって困難とされた目標は達成され、楽しさが倍増しております。

ロータリーの目的第4条、「世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。」の理念こそ、素晴らしいとは思いませんか。活性化、一緒に楽しみましょう。



クラブ管理運営 委員会

委員長

織田 英正

(高知南RC)

ガバナーエレクトに就任して、この原稿を書いている8月初旬で約1ヶ月になりました。夏見ガバナーと同じ行事に参加することも多くなり、実際のガバナーの仕事を感じることができるようになっています。高知市のガバナーエレクト事務所の運営も、徐々に軌道に乗りつつあります。

今年の夏も猛暑になりました。連日、体温を超過するような最高気温をマークしています。猛暑の中、インターアクトやローターアクトの若者たちは元気に活動を続けています。7月21日には2670地区ローターアクトクラブ第1回会長幹事会及びローターアクト提唱クラブ連絡会議、8月3日、4日には2670地区インターアクトクラブ年次大会が開催されました。また8月4日にはZoomで第7回 全国地区ローターアクト委員長及び地区ローターアクト代表合同会議にも参加できました。また継続中の短期交換受入プログラムも順調に推移して、8月にはアメリカに向けて送り出すことになっています。

2670地区内でも夏祭りの季節を迎え、コロナ感染防止に気を使いながらも若者たちが躍動する催しが目白押しです。真夏の行事を無事終了し実りの秋を迎えたいと思います。

体調に留意し、ロータリー活動へのご参加もよろしくお願いいたします。

地区委員長あいさつ



職業奉仕委員会

委員長

三谷 芳広

(徳島RC)

昨年に引き続き、職業奉仕委員長を拝命いたしました徳島RCの三谷芳広です。昨年はいくつかのクラブの職業奉仕活動に触れ、多くの学びを得ました。しっかりと活動を展開しているクラブがあれば、具体的な活動の指針を模索しているクラブもありました。職業訪問を中心に職業奉仕活動を展開するクラブの多くが、地域に長年愛され続けている企業であることを再認識しました。その共通点は、地域の皆様への感謝と謙虚な姿勢にあり、これが職業を通じた奉仕の原動力となっていることを強く感じました。

改めまして、地区職業奉仕委員長の責任の重さを感じています。今年度の活動として、まず昨年度の学びを活かし、具体的な活動指針を提示することに注力します。特に、活動に迷いを感じているクラブの参考になる様に、成功事例の共有や、具体的な活動の提案を通じてサポートしていきます。

さらに、職業訪問だけでなく、地域のニーズに応じた新しい奉仕活動の形を模索し、多様な職業奉仕活動を推進します。クラブ間の連携を強化し、各クラブが持つリソースを共有することで、より効果的な奉仕活動を実現することを目指します。

最後に、ロータリークラブの基本理念である「I Serve(私は奉仕する)」を再確認し、一人ひとりの職業倫理の向上と地域社会への貢献を促進します。皆様のご支援とご協力を得て、より良い一年を共に築いていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



社会奉仕委員会

委員長

祖父江 貢

(徳島東RC)

本年度、社会奉仕委員会の委員長をさせていただきます。祖父江です。よろしくお願いいたします。

ロータリーの基本理念の中に、「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。」と書かれております。そして、クラブ活動の土台となる5つの奉仕部門があり、その中の1つである社会奉仕を、「社会奉仕は、すべてのロータリアンが、地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。」と定義しています。

地区内各クラブの社会奉仕委員長様が、上記の理念を踏まえて新規または継続している事業活動を行えるようにサポートをしてまいりたいと思っております。

各クラブの皆様は、様々な奉仕活動への取り組みをされており、どの取り組みも数年あるいは数十年にわたり継続活動をされており。

各クラブへの情報提供や、問題点の解決策に思慮しているクラブへのアドバイス等、出来ることは限られておりますが、サポートをさせていただければと思います。

各クラブの社会奉仕委員長様には、活動の途中経過・報告、いろいろな情報のご提供をいただけますと大変ありがたいです。

1年間よろしくお願いいたします。

地区委員長あいさつ



国際奉仕委員会

委員長

篠田 日出海

(高松南RC)

前年度に引き続き地区国際奉仕委員長を仰せつかっていきます高松南ロータリークラブの篠田日出海でございます。

国際奉仕委員会は、青少年長期交換プログラムや青少年短期交換プログラム、および国際奉仕ファンド活用プログラムを管掌する3つの小委員会から成っております。

皆さんご存知の通り、青少年交換プログラム(長期／短期)では、若者達の“国際理解・親善・平和”の構築を推進しております。

長期交換プログラムは1年間の交換プログラムですが、前年度は米国へ4名の高校生を派遣、受入は米国から4名と豪州(オーストラリア)から1名の高校生でした。今年度は8月から米国と豪州へ順次各1名の派遣および受入のプログラムを開始しております。

短期交換プログラムは、今年6月29日から米ニュージャージー州RI7475地区より高校生20名を3週間受入れ、また7月30日から当地区の高校生20名をRI7475地区へ3週間派遣しました。

ロータリアン(会員)の皆さんには、青少年の長期・短期プログラムで会員が交換青少年にホームステイを提供するホストファミリー(HF)として、会員自身および家族と共に国際理解・親善に寄与されることを希望しております。

また、国際奉仕ファンド活用プログラムは、基金も残り少なくなりましたが、地区内クラブが実施する発展途上国の貧困脱却や識字率向上、健康向上等の人道的支援プログラムの推進に協力したいと考えております。

これらの国際奉仕活動へのご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。



青少年奉仕委員会

委員長

萩田 智子

(高松北RC)

今年の夏は格別暑く、全国各地の最高気温の記録が毎日のように報道されています。

この暑さの中、7月21日には、第1回会長幹事会及びローターアクト提唱クラブ連絡協議会が、松山大学キャンパスにて実施され、本年度の活動計画の発表や課題、質疑応答等の討議が繰り広げられました。

8月3日、4日には昭和43年以来、脈々と受け継がれてきた2670地区インターアクト年次大会が本年度は歴史と文化の街、松山市にて大会テーマ「伝える心を育てよう」を掲げ、総力を挙げて取り組まれました。

青少年奉仕委員会の事業はそれぞれの委員会が特性を生かしたプログラムに即して、委員長のリーダーシップのもと総意を結集し活力のある事業を展開し、青少年がより良い未来を確かなものにするために、人間として成長することを支援する活動であります。そこでは、最大の危機を想定し、最小限のリスクに抑える危機管理体制が常に求められております。この夏の猛暑の中、それぞれが危機管理の徹底を念頭に置き、地区運営方針に基づき、プログラムの目標を共有しながら力強く、何よりも楽しく取り組んでいる姿は輝きに満ち溢れておりました。

今後とも、青少年奉仕委員会にご理解、ご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

地区委員長あいさつ



ロータリー財団 委員会

委員長

赤松 昭信

(高松北RC)

ロータリアンの皆様、各財団委員長、委員の皆様には、日頃から財団に対し、格別のご配慮をいただきまして厚く御礼申し上げます。

“ロータリー財団の使命”

ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて世界理解、親善、平和を達成できるようにすること

以上が我々ロータリアンに課せられた責務であると考えます。

我々財団の活動目標は上記の使命に従って7つの目標を掲げました。

1. 皆様の寄付金：0クラブ0を本年度もお願いいたします。
2. グローバル補助金を使用しての活動
3. ポリオ(小児麻痺)の周知(特に若い人たちに周知活動)
4. 年次寄付金：1人150ドルを目標に
5. 大口寄付金の推進
6. 地区補助金を使用しての対外活動
7. グローバル補助金奨学生の募集及び選考

ロータリー財団委員会は多岐に渡りますが“みんなに公平か”を常に忘れずに活動を続けていきます。



米山記念奨学委員会

委員長

森 和夫

(高松東RC)

今年度、2670地区米山記念奨学委員長を拝命しました高松東RCの森です。まずもって、地区内ロータリアンの皆様には従来、本事業への深いご理解・ご支援を頂戴しておりますことに、感謝いたします。日本のロータリーの創始者米山梅吉氏(1946.4.28没)は、生前行った数々の社会奉仕のなかに、個人的に奨学金を出しアジアからの留学生等に資金援助をしていました。1952年東京RC会長に就任した古澤丈作氏(1955.7.19没)は、戦地となったアジア諸国への贖罪として、奨学金制度設立に尽力しました。

米山梅吉氏の功績を称え「米山基金」と名付けられた奨学事業は、すぐに全国の共同事業に発展し、現在は「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」と改称され、これまで131の国と地域から2万4千名以上の留学生を受け入れています。巣立った米山学友で組織された台湾米山学友会と韓国米山学友会では、自分たちが受けたと同様、奨学金及びカウンセラー制度を導入して日本人留学生に支援をしてくれています。また、今回の能登半島地震の発生を受け、ネパールの学友から「何か力になりたい。」と義援金が届きました。さらに、米山学友を含むベトナム人グループからも同様の義援金が届き、台湾米山学友会からは、「義援金を贈ることしかできないことがとてももどかしいです。一日でも早く元の生活に戻れることを願っています。」のメッセージも頂きました。

米山梅吉氏の「人にされて嬉しかったことは人にもせよ。」の教えを体得している米山学友が世界に広がれば、争いは消えるのみです。70年を超えて、この素晴らしい事業が続けてこられているのは、先人は固より、今のロータリー会員皆様のおかげです。

地区委員長あいさつ



ロータリーカード 推進委員会

委員長

田 邊 豊

(中村RC)

平素よりロータリーカードの推進にご理解ご協力を賜り御礼申し上げます。本年度ロータリーカード推進委員長を務めさせていただきます中村RC所属の田邊と申します。

2000年に「ロータリーカードで世界を救おう！」というテーマで始まりました。皆様のカードショッピング利用額の0.3%が国際ロータリー財団を通して、ポリオ撲滅や奉仕プロジェクト活動に寄付される仕組みとなっています。また買い物や食事など、いつものショッピングでポイントが貯まり、貯めたポイントで寄付することも可能です。ポイント交換した寄付額は個人・クラブの年次基金として加算されます。

このプログラムが開始されて以来、既に860万ドルが財団に寄付され、そのうち360万ドルがポリオ根絶活動に役立てられています。日本には2003年に導入されて以来、カード利用に伴う日本からのポリオ根絶への活動資金は、世界全体で約5割を占めるまでになっています。皆様のご協力のもとロータリーカードの利用は着実に増加しています。日本独自のこの活動にロータリー財団本部も注目しています。

第2670地区におきましても、クラブはもちろん会員個人でもロータリーカードにご加入いただき、ポリオ根絶に力を注いでいきたいと存じます。ご協力のほどよろしくお願いいたします。なお、カードの種類など詳細につきましてはMy ROTARYをご覧ください。



ロータリー公共イメージ 向上DEI委員会

委員長

三 浦 聖 人

(観音寺RC)

今年度から、地区の「広報・IT委員会」と「公共イメージ向上DEI委員会」が一つになり、「公共イメージ向上DEI委員会」として新たにスタート致しました。一方クラブにおいても、広報委員会から公共イメージ向上委員会に呼び名を変えるクラブが出てきており、「公共イメージ向上」という言葉が浸透していることに、大変嬉しく思っております。

さて、今年度の私共の活動の柱は次の二つと通ります。

まず、最初の柱は、夏見ガバナーのテーマ「インパクトをもたらそう 青少年に夢を」に則り、青少年の活動を中心にSNS(Facebook・Instagram・X(旧Twitter))で積極的に発信していきます。是非、皆様から多くの感動ある投稿をお待ちしております。

そして、二本目の柱は、毎年各地区で実施している親睦ゴルフを「ポリオ根絶チャリティーゴルフ」として実施していただき、ポリオ根絶のための募金集めをお願いします。

ところで、毎回同じことを申し上げますが、ロータリーでない人たちは、自分が接する数少ないロータリアンによって、ロータリーのイメージを作り上げる可能性があります。そういう意味からもイメージ向上を担う役割は、我々委員会よりも個々のロータリアンの方が大きいと思います。

すべてのロータリアンが職業奉仕を心がけ、そしてロータリーで経験した感動を多くの人たちと分かち合えること、それこそが「公共イメージ向上」と言えます。

「公共イメージは一日にして成らず」この言葉の通り、我々委員会も、今期の活動で目的が達成できると思いません。長期戦略の下で各クラブの社会奉仕活動の一助になれるよう頑張っ参りますのでよろしくお願い申し上げます。

地区だより

6/29~7/15
[SAT] [MON]

短期交換事業

2024
6/29
[SAT]

ウェルカム
パーティー

2024
7/15
[MON]

フェアウェル
パーティー

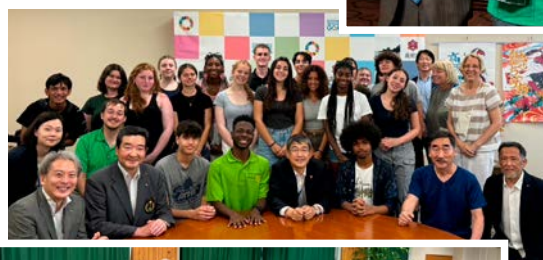
国際奉仕委員会 短期交換小委員会 委員長 濱崎 直哉 (高松RC)

今から45年前、当RI2670地区・梶浦PGと米国ニュージャージー州北部(以下NJと略)RI7475地区の、PGロス・レドモンド氏ならびにスベン・ジョンソン氏らのご尽力により、両国間での夏休みを利用したの学生交換ホームステイプログラムが第1回国際短期交換プログラムとしてスタートいたしました。

過去に4回残念ながら中止となりましたが(2003-2004年度はSARS、2009-2010年度は新型インフルエンザ、2011-2012年度は東日本大震災、2020-2023年度はコロナウイルス)、1978年の第1回交換プログラムから今日に至るまで両国あわせて2000名以上

の学生達が参加し、彼らの中には本プログラムに参加したことがきっかけで、将来の進路を決定し、現在両国内でご活躍されている方々も多数おられます。

今年はコロナウイルス影響による中止から再開後2回目の実施ということで、昨年より受入学生は4名増加し、学生20名、リーダー2名、アシスタントリーダー1名を受け入れることになりました。リーダーのキンバリー・デッカー氏、カレン・ジョンソン氏、そしてアシスタントリーダーの、ジョージ・ウェンツ氏、3名が率いる受入チームは、6月27日(木)夜に予定通り到着しました。





しいパーティーになりました。

RI2670地区 国際奉仕短期交換小委員会は、国際奉仕委員長、短期交換委員長・副委員長、14名の短期交換委員のメンバーで構成されており、プログラム実施にはガバナーエレクト、

到着翌日は京都・奈良を観光し、6月29日(土)夕方に徳島県に到着して、ウェルカムパーティーを開催し、最初のホストファミリーとの顔合わせになりました。徳島ではホームステイを行うとともに、長尾織布の見学・太龍寺の訪問などエキスカーションを楽しみました。7月3日には高知県に入りました。高知でもホームステイに加えて、高知市清掃工場の見学や高知商業高校生徒との交流、高知市長への表敬訪問を行いました。7月7日からは愛媛県に入りホームステイで交流を深め、7月11日には広島に移動し広島原爆ドーム・宮島などの観光を経て、7月12日に最後の受入先の香川県に入りました。7月15日のフェアウェルパーティーでは、香川県知事ご夫妻にもご参加いただきました。アトラクションでは、書道パフォーマンスや、獅子舞など日本の伝統芸能を楽しんでいただいた一方、学生たちもパフォーマンスを行い、最後に偶然当日が誕生日だった池田知事にサプライズのバースデイソングを送るなど、楽

次期ガバナー補佐、次期地区幹事ほか多くのロータリアンの皆様のご協力を得て実施されております。毎年1月に第1回目の委員会をスタートさせ、プログラム実施までの約半年間、受入れならびに派遣のプログラムを同時に進めています。特に次期ガバナー補佐ならびに短期委員は会場設営、ホストファミリー選定、派遣学生面接、人数調整、スケジュール調整、学生たちの資料作成等、数多くの対応を行っています。この原稿を執筆している間も、7月30日(火)から8月20日(火)の日程で、7475地区への派遣プログラムが進行中であり、植條敬介リーダー(坂出東RC)と2名のアシスタントリーダー、20名の学生が派遣されています。8月末に予定されている派遣学生報告会まで、短期交換委員会の担いは続きます。

最後に、この素晴らしいプログラムが、より多くのロータリアンの皆様のご協力により、今後も発展されていくことを心より希望いたします。



地区だより

2024
7/12
[FRI]

徳島県知事表敬訪問

徳島第Ⅰ分区 ガバナー補佐 **森住 博**（徳島北RC）

7月12日、夏見ガバナーは徳島県後藤田知事を表敬訪問されました。

この日は徳島プリンスロータリークラブへガバナー公式訪問の予定が入っていました。公式訪問が午後2時に終了すると、徒歩で徳島県庁へ移動しました。随行は和泉代表幹事、大平AG、森住AGです。知事室へ入室するとそこは徳島県物産の見本市会場の様相でした。まずは名刺の交換。

後藤田知事は笑顔で私もガバナーとよばれるのです。知事も英語ではガバナーだったのです。



夏見ガバナー談、最近では会員の減少が悩みです。

知事談、県人口の減少が喫緊の課題です。交通機関など海外諸事情が話題となる暑い暑い1日でした。



地区だより

2024
7/18
[THU]

香川県知事表敬訪問に 香川第Ⅰ・第Ⅱ分区の長期交換学生同席

国際奉仕委員会
長期交換小委員会 委員 七條 公美子 (高松北RC)

夏見良宏ガバナーの就任に伴い、2024年7月18日午前10時20分より、下記12名にて、香川県知事を表敬訪問いたしました。

夏見 良宏	国際ロータリー第2670地区ガバナー
住谷 幸伸	香川第Ⅰ分区 ガバナー補佐
國時 忠能	香川第Ⅱ分区 ガバナー補佐
篠田日出海	国際奉仕委員会 委員長
和泉 清憲	地区代表幹事
植條 敬介	短期交換小委員会 副委員長
七條公光子	香川第Ⅰ分区 長期交換小委員会 委員
宝田 伸介	香川第Ⅱ分区 長期交換小委員会 委員
岡 壯憲	香川第Ⅰ分区 アウトバウンド交換学生
Adelyn Morehouse(アデリン・モアハウス)	香川第Ⅰ分区 インバウンド交換学生
秋山祐里佳	香川第Ⅱ分区 アウトバウンド交換学生
Mackinley Meyer(マッキンリー・マイヤー)	香川第Ⅱ分区 インバウンド交換学生

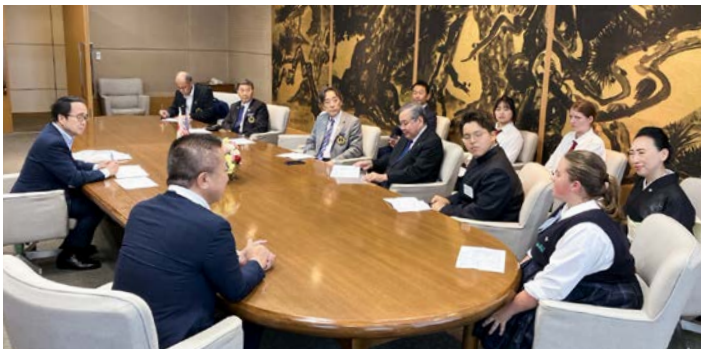


池田知事は長期交換を通じて国際交流が行われていることを大変好ましく思われ、これから香川にたくさんの外国人に訪れていただく先鋒となるよう期待されておりました。

高松北RCからの交換学生である岡君も、モアハウスさんも、1年の交換で多くの体験から学び、立派に成長したことが実感できる報告と、これからの夢を語りました。知事はご多忙中にもかかわらず、

交換学生4人の声に耳を傾け、ご質問もくださり、笑いも交えながら進み、たくさんの写真撮影にも応じてくださいました。

香川県庁の立派な会議室で、ロータリークラブを代表する方々と同列に並び、知事に直にお話できたことは、学生にとってまた尊い経験になりました。



地区だより



2024-2025年度

第3回 派遣予定学生オリエンテーション 及び 派遣学生帰国報告会・受入学生最終報告

国際奉仕委員会 渡邊 政 富 (伊予RC)
長期交換小委員会 委員

2024年7月20日、21日の両日、派遣間際の2人の交換予定学生のオリエンテーションと、帰国したばかりの4人のROTEX(ROTary EXchange student)の帰国報告、そして4人のインバウンド学生(IBS)の帰国前報告会が開催されました。初日は、渡航にあたっての注意点などについて派遣予定学生へのオリエンテーションが、瀬野長期交換委員長から行われ、その傍らでROTEXとIBSはそれぞれの情報交換をし、また地区委員は各担当学生の情報共有をして、今後のスケジュールの打ち合わせを行いました。その後、夕刻から全ての学生に約2時間の自由時間が与えられ、土曜夜市の開催されている松山大街道商店街へと、地元ROTEXの案内で全員仲良く繰り出していきました。



翌日は、夏見ガバナーと篠田国際奉仕委員長をお迎えして、ROTEXの帰国報告会が開催されました。コロナで中断した3年間を経て再開した今年度は、相手地区が新しくなったり委員長が変わっていたりして、これまでのような成果があがるのかと心配もしていました。特に今回の学生はそれぞれに个性的で、渡航前には線が細くて海外で押しつぶされないか心配した子や、向上心が先走り過ぎてコミュニケーション力に難点を感じさせる子がいたり、少し幼さはあるけれど割と安心して送り出せそうな子もいたり、英語も未熟なうえ何をしだすか分からない



タイプだったりしましたので、全員無事に一年間の交換学生生活を終わられるのか、不安めいたものを感じていました。しかし彼・彼女らは、言葉の壁と文化の違いを乗り越えて相手国に溶け込んで、たくさんの友人とかけがえのない第二・第三の家族を作って帰ってきました。それぞれ頑張って様々なことにチャレンジして、しっかり親善大使の役目を果たして来てくれたことを、取っておきの写真を披露しながら、時間が足りないくらいの内容で報告してくれました。

個人的には、この報告がプログラムの醍醐味と感じており、帰国報告を聞き彼らの成長に触れるたびに、このプログラムに関わって良かったと感じさせてくれます。近年はホストファミリーやクラブの受け入れ態勢など、時代の変化と共にいろいろな問題が顕在化していますが、これこそTHE ROTARYの精神を具現化したプログラムであることは間違いありません。決して途絶えさせることの無いよう、一部の関係者だけでなく各クラブと地区全体で奉仕の精神を発揮して、これを継続し発展させていかなければならない、という想いを新たに2日間でした。



地区だより

2024
7/21
[SUN]

2024-2025年度 国際ロータリー第2670地区ローターアクト 第1回 会長幹事会 および ローターアクト提唱クラブ連絡会議

地区ローターアクト 濱田 理沙 (松山RAC)
直前代表／地区会計

本年度、第2670地区ローターアクト地区会計兼直前代表を務めております濱田理沙です。7月21日に開催されました第1回会長幹事会の報告をいたします。

会長幹事会午前の部では、本年度よりローターアクトクラブにもガバナーが訪問されるということもあり、各クラブの活動方針や予算に関する報告を行いました。今までは他クラブの詳細な方針や予算の割り当てなどを報告する機会がなく、同じ地区内でも各クラブがどのようにこの1年活動していくのかどのような行事があるのか曖昧でした。各クラブの活動を知ることによって自クラブでもこの活動取り入れたいなど改めて自身のクラブを見つめ直す機会になったと思います。また、多くのアクター、ロータリアンの前で報告することにより、絶対成し遂げようという責任感も生まれたのではないのでしょうか。各自がローターアクトの一員として本年度活動してくれることを願っております。

午後の部では、アクターとロータリアンに分かれてそれぞれ会議を行いました。会長幹事会では地区からのお願い事項として、各種行事の日程案内やマイロータリーの登録徹底などの話を行いました。第2670地区の地区内行事は本日の会長幹事会およびローターアクト提唱クラブ連絡会議を含め年4回です。会長幹事会が2回、地区内交流会、そして最後に地区大会があります。その他にも地区外の交流会もありますが、会長幹事会のようにアクター同士の情報共有や意見交換などする場合はアクターとしての意識を知識を深める良い機会だと思っています。

今回は10月12・13日に徳島ローターアクトクラブホスト



で徳島県にて地区内交流会を開催いたします。2670地区のアクターとロータリアンが交流できる素敵な行事なので多くの方の参加をお待ちしております。

また、アクトの日(9月10日に最も近い日曜日)の活動計画についても話し合いました。当地区はアクトの日に活動しているクラブがなく、地区としても目玉となる行事もないため本年度はアクトの日に活動することを目標の一つとしています。各クラブどのような活動をするのか今後も情報共有をしていきたいと思っています。

その他、2019年度よりアクターとロータリアンの地位が同等になりアクターも人頭分担金の支払い義務があるため、各クラブきちんと会員登録が行えているのか確認し、できてない場合は早急に登録することを地区より指示いたしました。こちらも随時確認していきたいと思っています。

7月1日より、ローターアクトでは松岡代表の年度が始まりました。アクター歴3年と短い中で代表を務めてくれている松岡代表には本当に感謝しております。直前代表として心よりお礼申し上げます。当地区は5クラブ中4クラブが学生クラブということもあり、様々な問題があります。松岡代表にはこれから多くの壁が待ち受けているかと思いますが、一人で抱え込まず周りの人たちに

を頼って、この2670地区をより一層魅力のある地区にしていってもらいたいと思います。ぜひ、2670地区の皆様にご協力いただけますと幸いです。本年度も何卒よろしくお願いいたします。



地区だより

2024
7/26
[FRI]

高知学芸中学高等学校 インターアクトクラブ認証状伝達式

高知西RC インターアクト委員長 武井 勝一



この度、第2670地区で23番目のIACとして、高知西RCが支援する「高知学芸中学高等学校IAC」が承認されました。

認証状伝達式は、夏見良宏ガバナーをはじめ大勢のご来賓をお招きし、7月26日に執り行いました。式では、高知西RC 井上孝志会長が「世界中の青少年の活動に触れることで皆さんにとっての大きな道標が見つかると思います」と激励、



また、夏見ガバナーより「感性豊かな時期に国際理解を深め、リーダーシップを学ぶことは、人生にとって大きな経験になると思います」と温かいご祝辞を頂戴しました。続いて、夏見ガバナーよりIAC中村優介会長に心待ちにしていた認証状が伝達され、中村会長が「地元にどのような貢献ができるか自主的に考え、積極的に活動に取り組みます」と力強く抱負を述べました。

新たに誕生したIACが、地域の様々な場所で活躍し大勢の皆様のお役に立つことを切に願いますと共に、私達高知西RCの会員一同、積極的かつ丁寧支援して参ります。



ガバナー公式訪問報告

Governor official visit Report

2024
7/10
[WED]

徳島RC

📍 徳島グランヴィリオホテル

クラブ紹介 会長 松浦 良彦 幹事 大久保 聡

徳島RCは、昭和10年に設立した歴史のあるクラブで、現在の会員数は80名(うち女性会員が4名)。近年では年齢の若い会員も増えたことから活気あふれる雰囲気であり、前年度は当ロータリーからガバナーを輩出したことにより地区大会を会員全員で作上げたことで、団結力も強くなっています。

今年度は設立90周年ということもあり、次の100周年に向けた90周年記念事業を行ってまいります。

随行者コメント

恒例により、吉岡宏美2023-2024年度ガバナー輩出の徳島RCに訪問させていただきました。徳島RCは本年度創立90周年を迎えられる、地区内でも2番目に歴史の古いクラブです。過去に6名ものガバナーを輩出されており、参加させていただいた例会も、厳肅な雰囲気の中にもユーモアもあり、脈々とした歴史に軽やかさがある素晴らしい雰囲気でした。本年度のクラブのスローガンも、夏見ガバナーに合わせ「青少年に夢を」です。会長幹事会で夏見ガバナーとの懇談時に上がった話題から、お世話をしている米山奨学生の通う徳島大学の研究室に訪問することを決め、直後の例会で会員にご案内する行動力に驚かされ、大変印象的でした。(和泉 清憲)



2024
7/11
[THU]

徳島東RC

📍 徳島ワシントンホテルプラザ

クラブ紹介 会長 上垣 綾貴 幹事 高畠 真

随行者コメント

上垣 綾貴会長、高畠 真幹事、会員数53名の徳島東RCの例会に訪問いたしました。「親睦の東」とお聞きしていた通り、例会の雰囲気がとても和気あいあいとしていて、とてもアットホームなクラブです。会長さんの挨拶や記念撮影の時の雰囲気にもその様子が伺えました。また、今年は姉妹クラブの台湾羅東西RCに訪問するそうです。そして例会での楽しみは、もちろん食事！徳島東RCの昼食は中華料理でした！例会会場のシェフが中華出身ということもあり、中華料理が出てくる割合が多いそうです。円卓、円台を囲み料理を回しながら、楽しく会話が弾みました。皆様もしメイクアップに行くことがあれば徳島東RCおすすめです！(岡田 将一郎)



ガバナー公式訪問報告

Governor official visit Report

2024
7/12
[FRI]

徳島プリンスRC

📍 徳島グランヴィリオホテル

クラブ紹介 会長 森本 桂次 幹事 坂野 正明

- 1993年(平成5年)チャーターメンバー53名(内女性会員2名)で創立。2023年には創立30周年を迎えました。
- 2024年7月1日現在の会員予定数は72名(内女性会員11名(15.3%))、女性会員が比較的多いことが特徴です。
- 今年度は新入会員3名を目標としています。
- ガバナーを2名(2007-2008 稲山三治、2019-2020 大島浩輔)輩出し、今年度の地区区出向者は6名、地区への参画も積極的に行っています。
- 東京向島RC・京都洛南RC、バーナビー・メトロタウンRC(カナダ・バンクーバー)の3クラブと姉妹クラブ締結を行っています。国内2クラブとは積極的に交流を重ねています。
- 例会は毎週金曜日(12:30~13:30)、最終週の金曜日は夜間例会を開催し、会員間の交流および親睦を深めています。
- クリスマス家族例会・家族旅行・夫人同伴例会を開催し、ご家族の方と交流を深め、ご家族に対するロータリー活動への理解と協力を深めています。



随行者コメント

徳島プリンスRCが行っている事業は非常に多岐にわたり、創立当初からのロータリーに対する理念が脈々と受け継がれている印象です。徳島ローターアクトクラブのお世話クラブをされており、クラブ内に委員会を設置し継続的に支援をされています。また、毎月第4例会を夜間例会として親睦事業を通して絆を深められています。会計の基準や根拠が明確に計画書に記されており、分担金に対する意識の向上が図られているように感じます。地区役員も多くの方が参加され、積極的に事業に参加されています。(和泉 清憲)



2024
7/12
[FRI]

徳島RAC

📍 レンタルスペースHITS徳島

クラブ紹介 幹事 飯田 智覇

随行者コメント

本年度から始めたローターアクトクラブ(RAC)への最初の公式訪問先である、徳島プリンスRCが提唱クラブの徳島RACの例会に参加しました。例会には多くの提唱クラブのメンバーも参加し、主に現在抱えている問題やそれを踏まえた本年度の活動方針について話し合われました。一番の目標は会員増強で(現在の会員は6名)、経済的な自立も課題として認識しつつ、決定していきたいとのことでした。提唱クラブメンバーからも、社会的貢献を増やし、RCの例会でも発表してほしいなど活発な意見交換が行われました。(和泉 清憲)



ガバナー公式訪問報告

Governor official visit Report

2024
7/17
[WED]

阿南中央RC

📍 コート・ベール徳島ゴルフクラブ

クラブ紹介 会長 陶久 晃一 幹事 新田 勝

随行者コメント

阿南中央RC、陶久晃一会長、新田勝幹事、会員数17名の例会訪問に参りました。阿南中央RCは、開始時間が12時で各々、好きなメニューからランチをチョイスするシステムだそうです。そして12時40分から13時半までの例会事業となります。会員数の少ないクラブですので、会員同士が家族のような雰囲気と和やかに例会が進みます。クラブの大きな事業は8月に行う少年剣道大会です。それと加茂谷鯉祭りが継続事業として活動されています。会長さん幹事さんとも複数回の任命で会の運営にはご苦労されています。しかしながら新入会員も2名入り、新陳代謝もあり、このアットホームな雰囲気を残しつつ会員拡大に努力されて欲しいと思います。例会場はコート・ベール徳島ゴルフクラブのクラブハウスで行っておりますのでリゾート気分を味わうことができました。

(岡田 将一郎)



2024
7/17
[WED]

小松島南RC

📍 みどり旅館

クラブ紹介 会長 森 清 幹事 山永 雄一郎

小松島南RCは、本年創立50周年を迎えました。2024年3月29日に開催した記念式典には、47年の交流を持つ台中西南RCより、27名の会員ご家族の参加をいただき、心と心の友情を確認いたしました。クラブの特徴としては、創立当初より夜間例会の形をとっていることです。若い現役メンバーにとっては例会出席しやすいと思います。ただ、近年会員数の減少に危機感を感ずるところです。夜間例会クラブの魅力を発揮し、経験年数の浅い会員の退会に歯止めを掛けることが最大の課題です。

当クラブは、例会を夜間例会とし、各会員が出席しやすいようにしています。ここ数年は、少数ではありますが、毎年新規会員が入会しており、今後も会員増強に努めていきます。今年度の目標は純増3名です。また、心身障害児施設「めだか学園」への支援を続けており、今年度も継続して行う予定です。

随行者コメント

小松島南RC、森 清会長、山永雄一郎幹事、会員数17名の例会訪問に参りました。小松島南RCは、基本例会は19時半から20時半という夜間例会で行っています。会員の仕事になるべく支障をきたさぬようにということで、夜例会としているそうです。昨年、創立50周年となった歴史あるロータリークラブですが会員数の減少には危機感があり会員獲得に力を入れているそうです。しかしながら例会の後の懇親会に参加させていただくと、とても皆さんの賑やかな歓談と和気あいあいとした雰囲気！これに新入会員が加われば最強のクラブになりそうです。この日も新入会員が来られて早や打ち解けた雰囲気でした。幹事さんは、キャリアの若い会員を指名して会の運営に慣れてもらうこととクラブの核になってもらうことを期待しているそうです。今年度は、姉妹クラブである台中西南RCを訪問するそうです。

(岡田 将一郎)



ガバナー公式訪問報告

Governor official visit Report

2024
7/18
[THU]

阿南南RC

創立49周年記念式典パーティー

ロイヤルガーデンホテル

クラブ紹介 会長 八木 健造 幹事 撫中 一路

- クラブの創立は、昭和50年7月20日。現在の会員数は46名。
- スポンサークラブは阿南RC。
- 主な活動は、毎年7月に北の脇海水浴場での清掃活動。11月には平等寺でのお遍路さんのお接待。防災、減災事業として阿南市内の小、中学生に防災、減災のポスターと標語の募集をし、優秀作品を市内のひまわり会館にて展示、表彰しています。
- 友好クラブである米子東RCとは、毎年交互に合同例会をし、ゴルフや観光を通して友好を深めています。



夏見ガバナー 八木会長



夏見ガバナー祝辞



森住ガバナー補佐
乾杯挨拶

随行者コメント

周年会場であったため普段の例会場の雰囲気は不明。

17時より1時間を越え会長幹事懇談会が行われた。八木会長は48歳と若く変化への対応に前向きな考えだった。防災委員会があり南海地震を含めた防災意識の高さが新鮮だった。幹事が事務局を兼任し、幹事就任4年後に会長に就任するとのことだった。

18時30分より例会及び創立49周年記念パーティーが行われた。例会点鐘前に鉄琴でメロディーを鳴らすのが徳島の通常とのことだった。100%出席者の報告があり、100%出席者が多いことと各会員の100%出席達成回数が多かった。理由の一つとして仕事着(作業服も可)での例会出席が認められているとのこと、出席を促すための選択がされていると感じた。周年では羽ノ浦中学校マンドリン部(全国大会にも選出)の演奏があった。生徒より夏見ガバナーへのサプライズで「ひまわりの花籠」贈呈があった。撫中(むなか)幹事の計らいで周年への奥様の出席が多く、各奥様の自己紹介時に会員(ご主人)が一言を返す場面が楽しく、クラブの個性が出ていると感じた。田村直前会長の閉会のことは「楽しくなければロータリーでない」に阿南南RCの勢いを感じた。

(林 毅)



林随行者 森住ガバナー補佐 夏見ガバナー 阿南市長



阿南市長 夏見ガバナー



夏見ガバナー 羽ノ浦中学生



手に手つないで



ガバナー公式訪問報告

Governor official visit Report

2024
7/19
[FRI]

小松島RC

みどり旅館

クラブ紹介 会長 廣野 省五 幹事 松下 悦郎

随行者コメント

例会場は海から100m程の「みどり旅館」2階でテーブルにイスの設営だった。

12時前より会長幹事懇談会が行われた。今年70周年を迎え徳島県で2番目に設立されたクラブとのことだった。会員は17名で出席率は常に90%以上とのことだった。会員の高齢化と地域の自営業者の減少もあり会員増が課題とのことだった。例会開催回数を月2回〜3回で検討中とのことだった。5年に2回姉妹クラブの台北西門扶輪社RCとの交流で家族含め15名程訪問に行き、台北RCからは25名程訪問に来れるとのことだった。

12時30分より例会が行われた。例会点鐘前に鉄琴でメロディーが鳴らされた。世界平和を願い黙祷が行われることと「四つのテスト」を歌わずに皆で音読することにクラブの個性を感じた。昼食の「ちらし寿司」が美味しかった。バナー交換を行った後ガバナーの卓話があり、例会は終了した。(林 毅)



2024
7/22
[MON]

徳島北RC

ホテルグランドパレス徳島

クラブ紹介 会長 仁木 久智 幹事 古賀 康祐

当クラブは、昭和52年11月3日の『文化の日』に創立し【現在(2024年6月末)31名】、それ以来「奉仕の理念」を奨励し吉野川堤防の清掃活動(アドプト)や六条大橋南詰めの蜂須賀桜の管理(平成24年2月19日植樹)、あっぱる社会福祉法人ハートランド様へマスクやアルコール除菌液などの継続支援など多くの社会貢献を行っています。会員数は少ないですが、チャーターメンバーや先輩達、同世代のメンバーや吉田事務局、最高のメンバーと共に小さくともキラリと光るクラブ活動を行っています。

随行者コメント

徳島北RCは年齢構成が大変若く、会長と幹事も40歳代で四国の中でも最も若い、ベテランがしっかりと守りを固めている印象を受けました。懇談会の冒頭で夏見ガバナーから話がありました。徳島北RCはポテンシャルの高さを感じさせるクラブで、クラブ運営方針もかなり良くできていると感じました。地域と連携した新しいプロジェクトを推進していくことが運営方針にも示され、意欲的に活動する姿勢は模範となるものだと思います。

例会ではバナー交換の後、夏見ガバナーによる卓話があり、「青少年に夢を」に込めた思いを語られました。

仁木会長におかれましては、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)の参加経験者という貴重な存在であり、これからもロータリーのリーダーとしての活躍が期待されます。(神余 智夫)



ガバナー公式訪問報告

Governor official visit Report

2024
7/25
[THU]

脇町RC・美馬RC・阿波池田RC

清月屋敷

クラブ紹介

脇町RC

会長 河合 純治 幹事 友成 大

脇町RCは、会員交流が盛んなクラブです。様々な業種、幅広い年齢層の中で分け隔てなく交流を行っています。その交流の中で互いに力を合わせ、地域社会の貢献などを行い奉仕と友情を築き上げて活動を行っています。また、洲本(兵庫)、静内(北海道)、脇町の3クラブで友好クラブとして交流を深めています。



美馬RC

会長 松浦 美紀子 幹事 三好 亘

美馬RCは2006年創立の歴史もまだ浅く26名と小さなクラブです。年齢はクラブ最高齢86歳から、下は42歳で平均年齢は68歳と高めではありますが、女性会員は4名在籍するなど多様性のとんだ会員構成になっています。地区出向者も複数名出し、例会活動以外の青少年奉仕や社会奉仕など積極的に活動しています。



阿波池田RC

会長 松端 範人 幹事 藤川 隆幸

阿波池田RCは創立56年の歴史あるクラブです。会員は徳島県の三好市と東みよし町から構成されており両市町あわせて人口約3.6万人に対して会員数41名ととても活発なクラブです。活動としては、小学校駅伝大会、少年サッカー大会、中学校弁論大会、ポッチャ交流大会、いけだ阿波おどり期間中の早朝清掃など、地域に密着した奉仕活動を積極的に行っています。また、インターアクトクラブも池田高校・池田高校辻校の2校のサポートをしています。



随行者コメント

夏見ガバナー、陶國地区副代表幹事、川原、大平ガバナー補佐の計4名で3クラブ合同(脇町、美馬、阿波池田)に公式訪問いたしました。各クラブの会長からは、地域社会に根差した団体であることを自覚し、地域の繁栄を目指すクラブにしていきたいと考え、何年にもわたって青少年に対し、積極的な奉仕を行ってきたとの報告がありました。特に3クラブとも、地元高校が、インターアクトクラブに入っており、例会にも招待し、繋がりを確認できる場を作るなど、直接青少年に関わり、積極的かつ継続的な奉仕を行っています。3クラブとも会員数の少ないクラブではあるが、魅力的なクラブを作るべく、入会してよかったと思えるクラブを運営していきたいと語っていた。また、美馬RCでは、単年度でなく中長期的な視点から行動計画を求められているため、3年連続で幹事を受けるなど、時代に対応した行動をしています。どのクラブも大変元気で、まとまったクラブでした。(川原 一夫)

3クラブ合同ガバナー公式訪問例会



ガバナー公式訪問報告

Governor official visit Report

2024
7/29
[MON]

鳴門中央RC・鳴門RC

📍 リゾートホテル モアナコースト

クラブ紹介

鳴門中央RC

会長 河野 伸児

幹事 横関 守



鳴門RC

会長 篠原 彰憲

幹事 中岸 修平

二世・三世会員や在籍40年を超える会員も擁し、徳島県内最古の会社(創業1599年)をはじめ、地域の多様な人物が在籍しております。年配者から若年者のコミュニケーションも取れておりアットホームな雰囲気がありつつ、毎年の事業の実施にも力を入れております。本年70周年を迎えます。節目の75周年を見据え、そして100周年へとクラブの歴史を繋いでまいります。



- 創立年月：1955年 1 月
- テリトリー：鳴門市・松茂町・北島町
- ガバナー選出：山田静夫(1983-1984)
- ガバナー補佐選出：永井英彰(2008-2009)・芝野光(2019-2020)
- 会員数：48名(2024年 7 月 1 日現在、女性会員 5 名、親子会員 2 組)
- 鳴門渦潮高校インターアクトクラブ 創立1975年 6 月



随行者コメント

夏見ガバナー・大平ガバナー補佐と共に鳴門中央RC・鳴門RC合同例会へ公式訪問いたしました。会場はリゾートホテルともあり、例会場・料理・景観も素晴らしい内容でした。

- 鳴門中央RC：現在会員数35名。平成 2 年には72名いた会員が現在では約半数。今後、クラブ活動の積極的なPR等を充実させ、新入会員の増強に努める。
- 鳴門RC：今年70周年の節目となり、会員数増強(地域テリトリーの拡充)、委員会数の精査・プロジェクトの明確を図っていく。両クラブ共通課題として、危機管理意識を持ちクラブ内での対応強化・事前掌握できる組織を早急に整える。(谷川 淳二)

ガバナー公式訪問報告

Governor official visit Report

2024
7/30
[TUE]

鴨島RC・御所RC

セントラルホテル鴨島

鴨島RC

クラブ紹介 会長 尾崎 拓一 幹事 三倉 啓子

随行者コメント

鴨島RCは今年で66周年を迎える歴史のあるクラブです。国際奉仕委員会では、フィリピンのセントラル・タルラック、ピガンと姉妹クラブを締結し、長年、交流と寄付活動を行っています。今後の課題は会員の年齢構成が高いため、10年後、会員減少が懸念される。これから若い人たちが活動しやすいクラブ作りを目指すそうです。大平ガバナー補佐様、公式訪問では、色々とお気遣いいただききましてありがとうございました。（陶國 栄帰）

御所RC

クラブ紹介 会長 安友 幸夫 幹事 寺内 進

現在会員数27名 小さなクラブ、でも居心地のよい小さすぎないクラブです。地区大会で夏見ガバナーが披露された「一点突破・全面展開」の言葉。私たちにとっては青少年奉仕そのものです。御所RCは吉野川高校インターアクトクラブの提唱クラブ、彼等と一緒に森づくり事業、札所でのお接待、汗をかきかき楽しんでいます。今期は50周年記念事業を迎え準備中、私たちらしい事業にしたいと思います。

随行者コメント

会長、幹事が若く、和気藹々としたクラブだと感じました。国際奉仕では25周年記念事業でインドネシア・ケラサトリ村に学校を建設寄贈され、今年が50周年の節目にあたり、新校舎増築のため、150万円の寄付をされるそうです。青少年奉仕では吉野川高校IACへの支援をロータリー財団委員会と協力し森への植樹や6番札所でのお接待など、積極的に活動されています。（陶國 栄帰）



ガバナー公式訪問報告

Governor official visit Report

2024
8/6
[TUE]

徳島西RC・徳島中央RC

JRホテルクレメント徳島

徳島西RC

クラブ紹介 会長 三井 良造 幹事 西 幸宏

当クラブは本年創立66年を迎えます。最近会員数の減少の中、昨年度2名、今年度1名の増員ができ、現在35名が在籍しております。今後当面の目標として40名を目指し会員増強に努力しております。当クラブは「友情に厚く、親睦を深めよう」というすばらしい良き伝統があり、会員相互の協力のもと四つのテストの理念に基づいて今年度も頑張っていきたいと思っております。

随行者コメント

夏見ガバナー、大平ガバナー補佐と2クラブ合同(徳島西・徳島中央)例会に公式訪問させていただきました。

三井会長は60周年に引き続き会長就任ということで、長期目線でのクラブ運営に取り組まれています。2024-25年度からは「3年計画の目標と計画」が実施され、1年ごとに見直ししながら初期の目標を達成することです。特徴的なことは5年先まで会長を決めて計画的にクラブを運営されているとのこと、クラブ運営を計画的に実施されています。

また、姉妹クラブである京都西北RCとの連携した活動にも力を入れられているとのこと、当クラブ伝統の「友情に厚く、親睦を深めよう」を地域で実践されていると感じました。

(東原 隆啓)



徳島中央RC

クラブ紹介 会長 木村 清志 幹事 笠井 栄作

当クラブは1984年3月10日、故 美馬準一様を特別代表に、徳島西RCをスポンサークラブとして44名のメンバーでスタートしました。

地域奉仕の主なものとしては、創立当初より徳島市内の高等学校の「善行生徒表彰(17校)」を行い、創立10周年には環境美化運動の一環として市内の公園に「しだれ桜」を植樹、創立25周年には小松島市の国道沿いに「露ヶ本遍路休憩所」を建築、その後、毎年同所で清掃活動とお遍路さんのお接待をしています。

また2011年からは「JTMとくしま日本語ネットワーク」の活動を支援し現在も続けております。その他、県内に限られた活動ではありますが中央を冠する「阿南中央」並びに「鳴門中央」例会場を同じくする「徳島西」の各ロータリークラブとの合同例会等を開催し親睦と交流を深めております。

随行者コメント

夏見ガバナー、大平ガバナー補佐と2クラブ合同(徳島西・徳島中央)例会に公式訪問させていただきました。

木村会長は2度目の会長とのことで、過去の経験からクラブ運営に安定感が感じられました。また、当クラブの特徴的なことは、元気な女性会員が増加しているとのこと、今後も女性会員増強に努めるとのことです。女性会員の活動のおかげか和やかなクラブ運営ができていますように思います。木村会長から環境の変化に応じたクラブ運営を行うとのこと、発展が期待できるクラブであると感じました。

(東原 隆啓)



ガバナー公式訪問報告

Governor official visit Report

2024
8/9
[FRI]

阿波徳島RC

阿波観光ホテル

クラブ紹介 会長 山平 貴督 幹事 村上 佳孝

随行者コメント

会長、幹事が若く元気のあるクラブでメンバーは少人数ながら、よく纏まっていると感じました。クラブの特徴は野球親睦委員会の存在だと思いました。野球で会員相互の親睦を図り、どのクラブでも課題である新会員の獲得にも繋がっているそうです。また、社会奉仕委員会では、3カ月に一度、他団体と地域の清掃活動を、青少年奉仕委員会では徳島商業高校インターアクトクラブへの支援を積極的に行っている。今後はライラにも力を入れてきたいと、クラブに対する皆様の熱い思いを感じました。（陶國 栄帰）



7月度 出席報告

分区	クラブ名	出席率 (%)	7 月末 会員数	首比増減	7 月末 女性会員数	例会数
高知第Ⅰ分区 7RC	安芸	91.67	20	0	2	4
	中芸	74.29	12	0	0	3
	香長	100.00	11	0	0	2
	高知中央	72.27	47	1	0	3
	高知東	100.00	56	0	6	4
	高知南	85.81	85	1	12	4
	高知ロイヤル	93.85	22	0	3	3
高知第Ⅱ分区 8RC	高知	88.33	84	-1	10	4
	高知西	87.68	73	1	3	4
	高知北	72.22	35	1	3	4
	中村	82.72	59	0	7	4
	四万十	68.18	12	0	2	4
	仁淀	80.77	14	0	2	2
	宿毛	46.46	29	0	1	4
	須崎	72.34	16	1	0	3

分区	クラブ名	出席率 (%)	7 月末 会員数	首比増減	7 月末 女性会員数	例会数
愛媛第Ⅰ分区 9RC	今治	89.19	50	1	2	3
	今治北	88.89	20	-1	1	4
	今治南	100.00	65	1	0	5
	伊予三島	90.63	33	0	1	4
	川之江	95.71	47	1	1	5
	新居浜	100.00	68	0	2	4
	新居浜南	83.33	18	0	3	3
愛媛第Ⅱ分区 10RC	西条	98.77	27	0	1	3
	東予	100.00	28	1	2	4
	伊予	89.17	30	0	0	4
	道後	79.55	30	0	1	3
	松山	69.67	70	4	7	5
	松山東	81.37	22	0	0	5
	松山北	89.53	29	0	2	3
	松山南	89.71	51	0	5	4
	松山西	82.29	21	0	2	5
	大洲	83.33	29	0	2	3
	宇和島	87.04	18	0	2	3
	八幡浜	87.93	22	1	1	3

分区	クラブ名	出席率 (%)	7 月末 会員数	首比増減	7 月末 女性会員数	例会数
徳島第Ⅰ分区 10RC	徳島	83.96	78	1	4	5
	徳島東	80.67	53	0	2	3
	徳島北	75.89	30	0	7	4
	徳島プリンス	87.77	70	0	4	4
	阿南	59.79	51	1	3	4
	阿南南	91.38	46	1	0	4
	小松島	91.18	17	0	0	4
	小松島南	81.69	18	1	0	4
	阿南中央	59.00	17	0	3	3
	徳島眉山	72.73	11	0	1	4
徳島第Ⅱ分区 11RC	阿波池田	59.70	40	-1	1	5
	御所	74.30	27	0	5	5
	鴨島	99.53	46	1	1	5
	鳴門	71.04	47	1	5	4
	鳴門中央	75.00	34	-1	2	5
	徳島中央	57.41	27	0	6	4
	徳島南	73.65	37	1	3	4
	徳島西	77.14	35	1	4	5
	脇町	80.92	38	0	2	4
	阿波徳島	44.12	17	0	0	4
	美馬	65.38	26	0	4	4

分区	クラブ名	出席率 (%)	7 月末 会員数	首比増減	7 月末 女性会員数	例会数
香川第Ⅰ分区 10RC	さぬき	76.56	17	0	0	4
	東かがわ	95.00	25	0	3	4
	小豆島	87.64	30	-2	0	3
	高松	100.00	83	-1	9	4
	高松中央	91.74	32	0	0	4
	高松グリーン	88.81	35	0	4	4
	高松東	100.00	49	2	5	4
	高松北	84.16	81	1	7	4
	高松西	76.19	38	2	2	3
	高松南	72.03	59	1	2	4
香川第Ⅱ分区 8RC	観音寺	91.57	45	0	4	4
	観音寺東	86.54	27	0	4	4
	琴平	88.89	9	0	0	4
	丸亀	85.40	49	1	4	3
	丸亀東	61.90	43	0	3	4
	坂出	96.62	38	0	1	4
	坂出東	86.54	67	0	10	3
	善通寺	89.26	35	-1	0	4

	出席率 (%)	7 月末 会員数	首比増減	7 月末 女性会員数
73RC合計	82.52	2,780	21	201

受賞者一覧

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



東 邦彦
中村RC



阿部 榮次
徳島南RC

ポール・ハリス・フェロー



白山 靖典
鴨島RC

米山功労者 メジャードナー



山崎 啓輔
高知西RC

マルチプル米山功労者



東 祐史
高知西RC



野村 昌弘
高知西RC



国東 宣之
高松RC



物故会員



ご冥福をお祈り
申し上げます

高島 弘武
普通寺RC

2024年7月30日ご逝去
享年82歳



Information

ガバナー事務所から情報配信いたします

是非、ご登録いただきますようお願いいたします。



ガバナー月信編集委員会からのお知らせ

ガバナー月信はネット配信となっています。
ガバナー事務所のHPで月信の閲覧およびダウンロードをお願いします。

<https://www.rid2670.jp>



記事投稿のお願い

ガバナー月信は、地区ガバナー事務所と会員の皆様との情報共有ツールです。
日頃の奉仕活動等を下記へお送りください。

宛先



monthly2425@rid2670.jp

締切

毎月15日

物故会員の連絡について

クラブ名、氏名、逝去年月日、年齢と顔写真(画像ファイル名=氏名)をお送りください。

受賞者紹介について

所定のExcelファイルにクラブ名、氏名、受賞種別を入力の上、顔写真(画像ファイル名=氏名)をお送りください。

出席報告について

毎月最終例会後、翌月15日までにガバナー事務所までメールまたはFAXでお送りください。

クラブの行事や活動状況等について

原稿と写真を添付の上メールでお送りください。

Rotary
第2670地区



国際ロータリー第2670地区 ガバナー事務所

E-mail : info2425@rid2670.jp

国際ロータリー第2670地区ガバナー月信編集委員会 地区代表幹事：和泉 清憲／担当幹事：塩田 等

〒763-0024 香川県丸亀市塩飽町48-1 丸亀プラザビル5F TEL : 0877-35-8382(080-2553-7208) FAX : 050-3171-2778